

BB通信 現地レポート

@千葉県 JAきみつ管内 試験展示圃

BB通信現地レポート第一号は東日本営農資材事業所より、千葉県にあるJAきみつ富津経済センター管内の丸様、白石様の圃場で実施いただいている、水稻一発肥料「BBファイト066」（製造：㈱JAグリーンとちぎ）の試験展示圃場の様子と、実際にBB肥料を使用した感想をお伺いいたしましたので、その内容をご報告いたします。

今回お邪魔した組合員様圃場がある富津市は千葉県イメージキャラクター「チーバくん」の丁度おへそあたりに位置しています。



① 丸 文浩様圃場（供試肥料：BBファイト066 作付け品種：あきだわら）

1軒目にお邪魔した丸様は、水稻約35haの大規模面積で作付けをされており、コシヒカリ、あきだわら、にじのきらめき、など、計8品種を栽培されています。BB肥料試験区では「あきだわら」が作付けされています。

訪問時点では対照区と比較して明確な生育の違いが見られませんでした。違いが出るならこれから、という丸様のご意見を参考に、引き続き生育を確認させていただきたいと思います。（収量アップとなりますよう！！）



試験圃場を前にして左：丸様、右：JA全農千葉県本部 後藤職員



試験圃場（奥が対照区）



左が対照圃場、右が試験圃場

② 白石 知也様圃場 (供試肥料：BBファイト066 作付け品種：ふさおとめ)

2件目にお邪魔した白石様も水稻約80haの大規模面積で作付けをされており、コシヒカリ、ふさおとめ、粒すけ、など、計7品種を栽培されています。BB肥料試験区では「ふさおとめ」が作付けされています。

試験圃場では植え付け初期の水の入りが悪い時期もあったようで、生育が心配されましたが、圃場巡回時には順調に生育が進んでいました。

こちらも同じく、明確な生育の違いが見られなかったため、引き続き生育を確認させていただきたいと思います。

(収量アップとなりますよう！！ 2回目)



試験圃場

今回お邪魔させていただいた2名の組合員様とも、「BB肥料だから」といって、普段お使いの肥料と違いを感じることなく、普段通り施肥ができたとのことでした。

BB肥料に普段なじみの無い方で、「中身はどんなものなのか・・・？」と思われる生産者様もいるかと思しますので、今回圃場試験でご使用いただいた肥料銘柄の中身を掲載させていただきます。「BB肥料」のイメージと比較していかがでしょうか？ご興味を持たれた方は是非お近くのJAまでお問合せ下さい。



以上